

## 第20期 第2回町田市立図書館協議会次第

■日 時:2023年10月6日(金) 14:00~16:00

■場 所:町田市立中央図書館 6階中集会室

■次 第:

1. 副委員長の就任及び挨拶
2. 町田市子ども読書活動推進計画推進会議への委員選出について【資料1】
3. 図書館評価について【資料2】
4. 図書館からの報告【資料3】
5. その他

【次回開催予定】

・日 時:2023年11月21日(火)14:00~16:00

・場 所:町田市立中央図書館 6F ホール

## 第20期 第2回町田市立図書館協議会当日配布資料一覧

### 当日配布資料

【当日資料】公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果.pdf

### 協議会委員事前送付資料

【資料0】第20期 第2回町田市立図書館協議会次第.pdf

【資料1-1】町田市子ども読書活動推進計画推進会議への委員選出について.pdf

【資料1-2】町田市子ども読書活動推進計画推進会議委員の推薦について（依頼）.pdf

【資料1-3】【概要版】第四次町田市子ども読書活動推進計画.pdf

【資料2-1】図書館評価について.pdf

【資料2-2】差替【2-4・2-5・4-3】2022年度事業実績報告シート.pdf

【資料3-1】図書館からの報告事項.pdf

【資料3-2】請願第14号「町田市立図書館の資料購入費の増額を求める請願」.pdf

【資料3-3】（行政報告）鶴川図書館における図書コミュニティ施設に向けた取組状況について.pdf

【資料3-4】【英語多読講演会】英語多読への招待～図書館の森に多読の木を植えよう.pdf

## 町田市子ども読書活動推進計画推進会議への委員選出について

## 1 町田市子ども読書活動推進計画推進会議について

町田市子ども読書活動推進計画推進会議では、町田市子ども読書活動推進計画（以下「計画」という。）を効果的に推進するため、子どもたちに関わる市民と行政が同計画の進捗状況について、確認や情報交換を行っています。

また、現在の第四次計画が2024年度で終了するため、2023年度から第五次計画の策定検討も合わせて行っていきます。

## 2 委員の構成

「町田市子ども読書活動推進計画推進会議設置要領」で定めている委員の人数は14人です。内訳は、次のとおりです。

町田市公立小学校長会の代表 1人  
町田市公立中学校長会の代表 1人  
町田市立小学校の読書活動に携わる保護者 1人  
町田市立中学校 PTA 連合会の代表 1人  
町田市私立幼稚園協会の代表 1人  
町田市法人立保育園協会の代表 1人  
図書館又は学校図書館に係るボランティア 2人  
町田市立図書館協議会の代表 1人  
子ども生活部児童青少年課長  
子ども生活部子育て推進課長  
教育委員会事務局学校教育部教育総務課長  
教育委員会事務局学校教育部指導課長  
教育委員会事務局生涯学習部図書館長

## 3 任期

2年

## 4 開催回数

年2回程度

日程は都度調整します。平日の昼間、2時間程度です。会場は中央図書館です。

## 5 謝礼

会議1回の出席につき10,500円

23町教生図第265号

2023年9月13日

町田市立図書館協議会委員長

松本 直樹 様

町田市立図書館長 中嶋 真

町田市子ども読書活動推進計画推進会議委員の推薦について（依頼）

日頃より、町田市の図書館行政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、従前より町田市子ども読書活動推進計画推進会議に「町田市立図書館協議会」より委員の推薦をいただいておりますが、下記のとおり引き続きご推薦くださいますようお願い計らいのほどよろしくお願いいたします。

記

- |         |                                |
|---------|--------------------------------|
| 1 名 称   | 町田市子ども読書活動推進計画推進会議委員           |
| 2 任 期   | 2023年11月1日から2025年10月31日        |
| 3 推薦人数  | 1名                             |
| 4 提出期限  | 2023年10月31日（火）まで               |
| 5 提 出 先 | 下記問い合わせ先もしくは図書館協議会事務局までお願いします。 |

問い合わせ先

町田市立図書館企画・地域支援係

担当：吉田・屋代・廣瀬

電話：042（728）8220

Mail：syougaig050\_02@city.machida.tokyo.jp

# 第四次 町田市子ども読書活動推進計画 概要版

## (2020年度～2024年度)



### 1 はじめに

読書をすることは、人間が生きていく上で重要な意義を持ちます。とりわけ子どもにとっては、これからの長い人生を生き抜く力を身に付けるために必要不可欠な活動です。しかし、近年のスマートフォン、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス。Instagram、LINE等）の普及など、急激な環境の変化により、さらに子どもの読書離れが進むことが懸念されています。

町田市は、子どもたちが多くの本と出会う機会を得て、読書のすばらしさや楽しさを体験できるように、家庭、地域、学校等が連携し、社会全体で支えていくため、「第四次町田市子ども読書活動推進計画」を策定しました。本計画をもとに、今後も子どもたちの読書活動推進に取り組んでいきます。

### 2 基本理念・目標

#### 基本理念：自ら進んで本を読む子を育てる

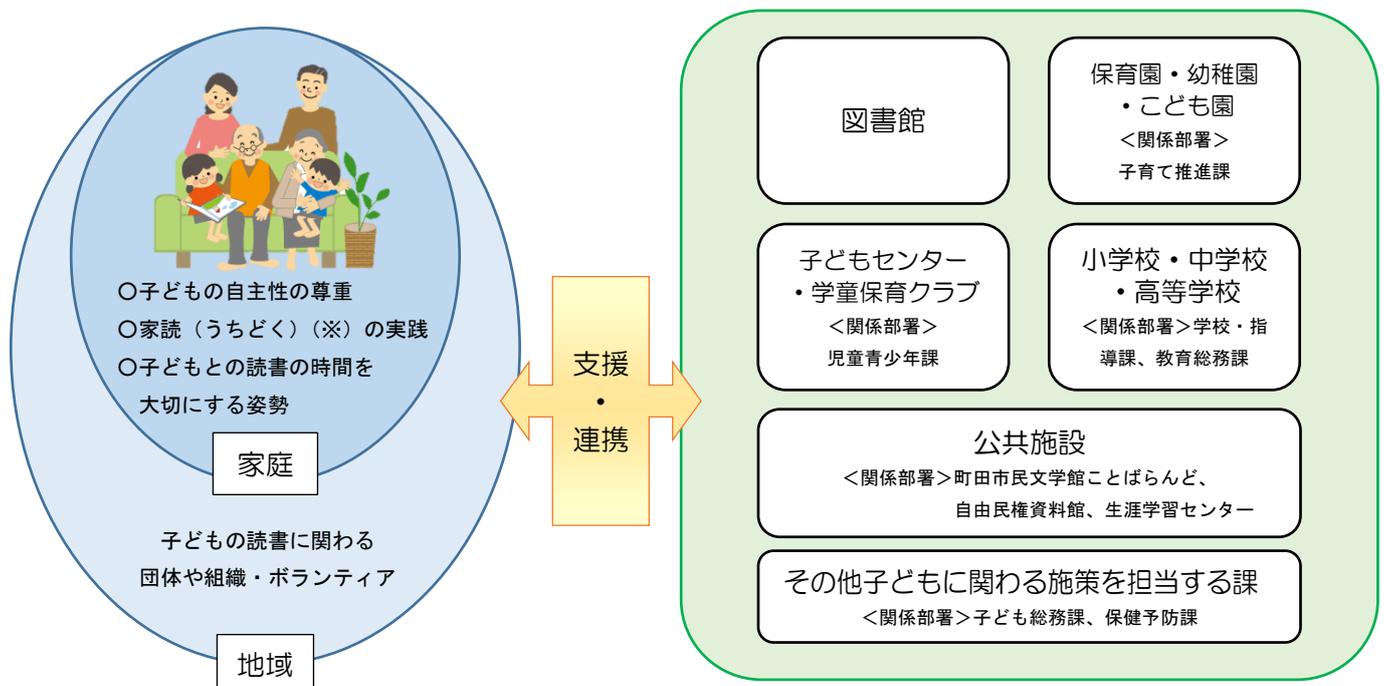
基本目標1：子どもが本と出会うきっかけ作り

基本目標2：いつでも身近なところに本がある環境作り

基本目標3：子どもの読書に関わる人の配置と育成

### 3 市民と行政の役割

市民（家庭・地域）と行政、ライフステージに応じた各施設の協働体制で取り組みます。



※家読＝家族で同じ本を読み、子どもを中心に読んだ本の感想を伝え合うことで家族のコミュニケーションを深める活動

## 4 取組内容

### 基本目標1：子どもが本と出会うきっかけ作り



- ◇ 場所と機会を捉えて、様々な年齢層に向けたおはなし会を行います。
- ◇ 英語のおはなし会を実施するなど、内容にバリエーションを持たせます。
- ◇ 一つのテーマでいろんなジャンルの本を紹介するブックトークを、図書館や学校で行います。
- ◇ 年代別、テーマ別おすすめ本の紹介リストを作成し、学校や施設で配布します。
- ◇ 子どもたちに図書館を知ってもらうため、図書館見学の受け入れを積極的に行います。
- ◇ 「まちだ図書館まつり」をはじめ、子どもが本に興味を持つきっかけになるようなイベント・講座を開催します。
- ◇ 母子手帳の交付時のおすすめ絵本の案内や、「マイ保育園事業」登録時の0歳児と保護者への絵本の配布など、早い段階で本に出会えるきっかけを増やします。
- ◇ 市内の小・中学校ではそれぞれ特色のある読書活動を行います。

### 基本目標2：いつでも身近なところに本がある環境作り



- ◇ 図書館に英語の児童書を増やし、「えいごのまちだ」を推進します。また、子どもたちの興味関心や調べ学習に対応できる資料、読むことに障がいのある子も楽しめる資料を充実します。
- ◇ 地域子育てセンターや子どもセンターなどの図書コーナーを充実します。
- ◇ 「学校図書館活用の手引き」をもとに、各学校図書館の蔵書整備を計画的に進めます。
- ◇ おはなし会や講座などの情報を「子育てひろばカレンダー」や「生涯学習NAVI」といった情報誌へ掲載するほか、子育てサイトや図書館ホームページ・ツイッターで発信するなど、情報発信を充実します。
- ◇ 市立小中学校の新1年生の家庭に「家庭学習推進の手引き」を配布し、家庭での読書習慣を啓発します。
- ◇ 地域文庫やまちライブラリーなど、本と出会う場所をまとめた「本と出会う場所マップ」を公開します。

### 基本目標3：子どもの読書に関わる人の配置と育成



- ◇ 学校図書館担当者や新任教諭への図書館研修を実施します。
- ◇ 読み聞かせやおはなし会ができるボランティアや保護者を養成します。また経験者のレベルアップを図ります。

## 5 計画の進行管理

関連部署・施設等と情報交換し、子どもの読書活動の進捗を確認して取組を進めるため「町田市子ども読書活動推進計画推進会議」を毎年度開催します。また、取組状況報告書を図書館ホームページに公開します。

町田市立図書館ホームページ → 図書館の取り組み → 計画・評価  
<https://www.library.city.machida.tokyo.jp/outline/index.html>



## 図書館評価について

### 1. 2022 年度実績の図書館評価の実施概要

○評価項目は全 14 項目（19 指標）あります。

評価項目を 3 グループに分け、各委員がどの評価を行うかを決めます。

1：中川委員・吉田委員・高橋委員 取組番号 2-3、2-5、2-9、4-7、5-2

2：梶野委員・二川原委員・若色委員 取組番号 2-6、2-7、2-8、3-8、4-3

3：仲村委員・福田委員・山中委員 取組番号 2-4、5-5、5-6、5-7

○第 1 回定例会では図書館評価の概要について説明しました。また各事業の補助資料の提供を行いました。

○第 2 回定例会ではまずグループに分かれて各取組項目について担当職員が説明と質疑応答を行います。その後、引き続きグループでコメント案についての協議を行います。良かった点、悪かった点、足りなかった点、事業への助言等、感想・コメントをお寄せください。各取組項目について、意見を出し合って、取りまとめについてもご検討ください。グループ内で誰がどの項目を担当するかを決めてもよいと思います。

○各委員はコメント案を作成して、事務局にお送りください。

締切 10/25（水）

○第 3 回定例会ではコメント案の全体確認を行います。外部評価に関する報告書の内容についての意見交換も行います。

○委員長にコメント案の修正確認と、「外部評価に関する報告」を作成いただき、第 4 回定例会で外部評価を決定いたします。

### 2. 評価スケジュール

	第 20 期図書館協議会	図書館
第 1 回定例会 (8/8)	外部評価の依頼を受ける	外部評価依頼 図書館評価概要説明 補助資料提供
第 2 回定例会 (10/6)	グループ協議・コメント案の意見調整	グループに分かれて評価項目説明
	コメント案を作成・事務局へ送付 (締切 10/25)	資料取りまとめ・修正
第 3 回定例会 (11/21)	コメント案の全体確認 総評についての意見交換	
	委員長確認・総評作成	資料修正
第 4 回定例会 (1/26)	外部評価の内容決定	
		図書館評価結果の公表

■取組2-4 学校図書館との連携強化【◇】		図書館			
事業概要	小・中学校の学校図書館への支援や子どもの読書活動を充実させるために、図書館から学校図書館への貸出のしくみを改善するなど、支援方法を見直して、学校図書館と図書館との連携を強化します。				
これまでの取組	さるびあ図書館を拠点に、「学校図書館支援貸出」（しらべ学習等に対応して、図書館が選書を行って提供する）により、小・中学校の学校図書館へ本を車で配本するサービスを行っています。また、学校図書指導員への研修に協力しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①学校図書館支援貸出利用校数		35校	42校	
	②学校図書館支援貸出数		3,768冊	4,500冊	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	学校図書館支援貸出の実施				
	新たな支援 内容の検討	貸出方法等の改善 新たな支援の実施			支援内容 の検証
年度目標 (指標①)	35校	37校	39校	40校	42校
年度目標 (指標②)	3,800冊	4,080冊	4,220冊	4,360冊	4,500冊

### <2022年度の事業実績>

達成状況 (指標①)	D 目標に達しなかった
取組状況 (指標①)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館支援貸出は26校に実施しました。</li> <li>学校図書館への連携サービス改善のため、公立小・中学校へ学校図書館支援に関するアンケート調査を実施しました。また、町田市小学校教育研究会図書館部の教員に対して、学校図書館に関するヒアリングを実施しました。</li> </ul>
達成状況 (指標②)	D 目標に達しなかった
取組状況 (指標②)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館支援貸出の冊数は、2,884冊でした。</li> <li>2022年10月から開始した電子書籍サービスを学校でも活用できるように検討しました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館と連携をとりながら、学校図書館支援に関するサービスの改善に努める必要があります。</li> <li>アンケート調査やヒアリングから、貸出依頼時に選書などに時間がかかり、利用しにくいことがわかりました。</li> <li>電子書籍サービスを学校で活用する場合の実施方法を検討する必要があります。</li> </ul>
今後の取組の 方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館支援に関するアンケート調査の結果から、学校図書館支援貸出に関する改善策を検討していきます。</li> <li>引き続き、学校図書館支援貸出、研修会の協力、団体貸出資料の配本サービス等を行い、学校図書館との支援や連携に努めていきます。</li> </ul>

■取組2-5 生涯学習施設の利用促進	文化財係・自由民権資料館・生涯学習センター・図書館・文学館
--------------------	-------------------------------

事業概要	より多くの市民に生涯学習施設を知ってもらい、幅広い世代の利用につながるよう、リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信のほか、各施設の相互PRをはじめ、市内外の各機関と連携したPR活動を進めます。				
これまでの取組	リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信を行っています。				
活動指標	指標	現状値（2017年度）	目標値（2023年度）		
	①連携して行うPR活動件数	4件	10件		
	②SNS発信数	219回	800回		
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	新たな連携先の検討・調整	新たな連携先とのPR活動の実施	検証	検証結果に基づくPR活動の見直しと実施	
	SNSを利用した情報発信				
年度目標（指標①）	5件	6件	7件	8件	10件
年度目標（指標②）	520回	610回	670回	720回	800回

<2022年度の事業実績>

達成状況（指標①）	A 計画以上に目標を達成した
取組状況（指標①）	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習部所管施設のほか、子どもセンターや小中学校、高校、大学、専門学校、さがまちコンソーシアム、町田市地域活動サポートオフィス、町田国際交流センターなど他施設との連携・共催事業を、自由民権資料館で7件、図書館で3件、文学館で14件、生涯学習センターで28件の合計52件実施し、施設の相互PRに務めました。</li> <li>図書館では、移動図書館車がシバヒロや芹ヶ谷公園のイベント、保育園・幼稚園に出張し、図書館のPRを行いました。</li> </ul>
達成状況（指標②）	A 計画以上に目標を達成した
取組状況（指標②）	<ul style="list-style-type: none"> <li>Twitterによる情報発信を自由民権資料館で56回、図書館で108回、文学館で768回、生涯学習センターで78回、文学館ではInstagramによる情報発信も50回実施し、合計1,060回のSNSによる情報発信を行いました。</li> <li>図書館では、Twitterフォロワー数が毎年増加しており、2022年度には2021年度から148人増加し、1,478人になりました。</li> <li>生涯学習センターでは、学生活動報告会「ガクマチEXPO」のPRを、さがまちコンソーシアム、町田市地域活動サポートオフィスと連携して行い、相乗効果により生涯学習センター公式Twitterに10,000件を超えるアクセスがありました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の特徴を知ってもらい、未利用者に向けた実施事業や施設のPRが必要です。</li> <li>Twitter以外のInstagramなどのSNSの効果的な活用方法の研究が必要です。</li> <li>連携したPRのためには他施設や関係する機関との情報共有が必要です。</li> </ul>
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の愛称募集や新規講座の実施など、施設の魅力向上のための取組を進めます。</li> <li>SNSとHPの連動やTwitter以外のSNSの活用など、情報発信の方法を検討していきます。</li> <li>2022年度に連携した他施設等を中心に早めに情報共有を図り、事業の実現を進めます。</li> </ul>

<b>■取組4-3 地域で活動するボランティアの養成・支援【◇】</b>	図書館
--------------------------------------	-----

事業概要	おはなし会などの本にかかわる活動がより活発に行われるよう、地域や学校で活動するボランティアを養成するとともに、ボランティアが行うおはなし会の開催を支援します。				
これまでの取組	各図書館でのおはなし会については、ボランティア入門講座を行っておはなし会の担い手を育成し、職員とボランティアが協力して、おはなし会を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①地域で活動するボランティア向け講座の開催回数		1回	3回	
	②地域で活動するボランティア向け講座への参加者数		26人	90人	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	ボランティア向け講座の実施、内容の検証・改善				
	新たな支援方法の検討		新たな支援の実施		
年度目標 (指標①)	1回	1回	2回	2回	3回
年度目標 (指標②)	30人	30人	60人	60人	90人

## &lt;2022年度の事業実績&gt;

達成状況 (指標①)	B 目標を達成した
取組状況 (指標①)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせ活動に関わる保護者やボランティアを対象とした絵本の読み聞かせ講座「基礎編」を2回、「応用編」を1回、図書館ボランティアを対象としたスキルアップ研修等を4回開催し、計7回開催しました。</li> </ul>
達成状況 (指標②)	B 目標を達成した
取組状況 (指標②)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせ活動に関わる保護者やボランティアを対象とした絵本の読み聞かせ講座「基礎編」に25人、「応用編」に13人、図書館ボランティアを対象としたスキルアップ研修等に45人、計83人の参加がありました。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に学校や学童クラブで活動している方に向けて行う講座については、より広範囲の市民に周知できるよう案内の方法を検討する必要があります。</li> <li>・図書館のおはなし会で活動しているボランティアに向けて行う講座に関しては、参加者を増やすために講座の内容及び案内の方法を検討する必要があります。</li> <li>・地域で活動するボランティアを増やしていくために、新規にボランティアを養成する必要があります。</li> </ul>
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、各館の担当者と打合せを行い、図書館としてより効果的に実施する方法を検討します。</li> <li>・ボランティアに対して、新たな活躍の場の創出や技術の維持向上を図るための支援手法を検討します。</li> </ul>

## 図書館からの報告事項

### 1. 町田市議会の動向

(1) 第3回定例会 (8月29日～9月29日)

①一般質問

9月4日

- ・藤田学議員「誰一人取り残さない人に優しいデジタル社会の実現について」
- (3) デジタルデバイド対策の取り組みについて
- (4) マイナンバーカードの利活用の拡大について

9月7日

- ・おんじょう由久議員「GIGAスクール構想の進捗について」
- (3) コミュニティセンターや図書館などの無料Wi-Fi環境をはじめ、学校外での自主学習の環境整備状況と今後の取り組みは。

②文教社会常任委員会 (9月14日)

- ・請願第14号「町田市立図書館の資料購入費の増額を求める請願」【資料3-2】  
 <請願項目>『町田市立図書館の資料購入費、特に図書費を多摩地域の平均230円  
 (市民1人当たり) を目標に速やかに増額してください。』  
 ☞委員会：賛成多数 ☞9月29日本会議：

- ・認定第1号「令和4年度町田市一般会計・特別会計歳入歳出決算認定について」
- ・行政報告「市立小・中学校児童・生徒への電子書籍サービス利用ID付与について」
- ・行政報告「鶴川図書館における図書コミュニティ施設に向けた取組状況について」  
 【資料3-3】

### 2. 町田市教育委員会の動向

(1) 第6回定例会 (9月20日)

- ・報告「「町田市生涯学習推進計画 2019-2023」に係る 2022年度事業実績の報告について」
- ・報告「鶴川図書館における図書コミュニティ施設に向けた取組状況について」

### 3. 各種計画 (町田市5ヵ年計画 22-26、公共施設再編計画、アクションプランなど) に基づく取組み

(1) 町田市教育プラン 2024-2028 の策定状況について

→パブリックコメントの実施

2023年10月1日 (日) ～2023年10月31日 (火)

(2) 鶴川図書館における図書コミュニティ施設に向けた取組状況について【資料3-3】

(3) 英語多読講演会の実施について【資料3-4】

- ・日時：11月12日 (日) 10:30～
- ・場所：中央図書館6階ホール

## 町田市立図書館の資料購入費の増額を求める請願

## &lt;請願要旨&gt;

公立図書館は、市民の知る自由や学習権を保障する社会インフラとして、きわめて重要な施設です。それはまた、地方行政に主体的に参画しようとする市民が、自ら考え、判断する際に必要となるあらゆる資料・情報を提供する機関として、自治体のもっとも基礎的な「社会的共通資本」のひとつです。

図書館が図書館として機能するためには、①施設・設備、②蔵書、③職員の3つの要素が十分に確保されていなければならない、と言われます。特に③の司書職員が果たす役割は大きなものですが、それと同時に②の蔵書、つまり図書館資料が重要であることは言うまでもありません。図書館にはあらゆる分野の資料が豊富に備えられ、それが常に新鮮に維持されてこそ市民は必要な図書館サービスを楽しむことができます。そのためには、一定の資料購入費が毎年継続的に措置されることがどうしても必要です。

ところが、ここ数年の町田市立図書館の資料購入費は、近隣自治体に比べて極端に少ないのが実態です。

「令和4年度東京都公立図書館調査」(東京都立図書館)によれば、今年度の町田市の市民1人当たり資料費総額(図書費+雑誌・新聞費+視聴覚資料費など)と図書費は、ともに東京23区と多摩26市を合わせた全49自治体の中で最低となっています(裏面グラフ参照)。

町田市の市民1人当たりの資料費総額は106円、図書費は80円で、いずれも23区平均(資料費総額310円、図書費226円)、26市平均(同306円、同230円)の三分の一強という惨憺たる有様です。因みに、図書館全体の経費(図書館費)を見ても、町田市は49の区と市の中で、低い方から7番目であり、そもそも他の自治体に比べて、町田市は図書館にあまりお金をかけていないことが明らかです。

これでは市民は十分な図書館サービスを楽しむことができません。2022年度に実施された「図書館利用者アンケート(総合満足度抜粋版)」でも、「不満」「やや不満」の理由として「新刊が少ない」「蔵書数が少ない」「予約待ち時間が長い」という声が各館で挙げられています。

私たちは、町田の図書館が十分にその機能を発揮できるよう、資料購入費が次のように増額されることを強く求めます。

## &lt;請願項目&gt;

町田市立図書館の資料購入費、特に図書費を多摩地域の平均金額230円(市民1人当たり)を目標に速やかに増額してください。

2023年9月13日・14日 行政報告資料 生涯学習部図書館
--------------------------------------

## 鶴川図書館における図書コミュニティ施設に向けた取組状況について

町田市立図書館では、将来に渡り町田市の図書館サービスを継続していくために、「町田市公共施設再編計画」及び「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」に基づき、図書館再編の検討を進めております。

鶴川図書館においては、図書コミュニティ施設の運営団体設立準備会による検討が進んでおり、補助金による自主運営を始める民設民営化の時期や施設のレイアウトなどが話し合われています。この度は、その取組状況について報告いたします。

### 1 図書コミュニティ施設運営団体設立準備会による検討について

10月の運営団体設立に向け、地域が主体となった運営が展開しやすい「一般社団法人」を法人形態として定款や事業計画、組織体制などの検討を進めています。また、多様な人々がつながる場や居心地の良い場所など図書コミュニティ施設のコンセプトの議論を基に施設レイアウトの検討を進めております。

### 2 図書コミュニティ施設への転換に向けた施設改修

運営団体設立準備会による施設レイアウトの検討案を基に、新たな施設の利用方法や過ごし方、どのような活動をしたいかなどについて、今後実施するイベントで意見収集をする予定です。

いただいたご意見を踏まえて、2月～3月中旬ごろに図書コミュニティ施設への転換に向けた施設改修を実施します。なお、改修期間中は休館します。

### 3 民設民営化の時期について

運営団体準備会から、スムーズな施設運営を実現するため民設民営化をできるだけ早く実施してほしいという声があり、民設民営化の時期を検討しました。

2026年度から民設民営化を実施する予定としていましたが、図書コミュニティ施設としてのパフォーマンスを最大限に発揮できるようにすることや認知度向上、担い手の確保の観点から、民設民営化の時期を2025年度からといたしました。

### 4 今後のスケジュール

2023年10月 運営団体設立

運営団体によるイベントの開始

2024年 2月～3月中旬

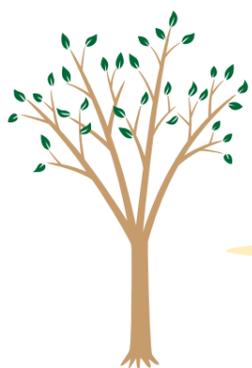
図書コミュニティ施設への転換に向けた施設改修  
及び工事に伴う鶴川図書館の休館

2024年 4月 図書コミュニティ施設のコミュニティ機能運営開始

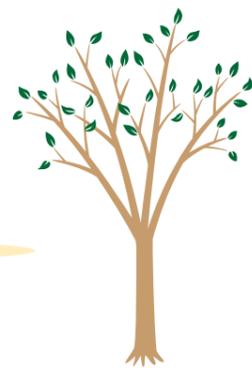
2024年 9月 「町田市立図書館条例」の改正について議案上程

2025年度当初 民設民営化後の図書コミュニティ施設の運営開始

## 英語多読講演会



## 英語多読への招待



～図書館の森に多読の木を植えよう～

辞書を引かずにやさしい英語をたくさん読むことで英語に親しんでいく「英語多読」を始めてみませんか？

実際に多読用図書に触れ、英語初心者でも気軽に楽しめる多読の世界をご紹介します講演会です。

日時： 11月12日（日）

午前10時30分～（午前10時開場）

場所： 中央図書館6階ホール

定員： 100名（先着順）

講師： 酒井 邦秀 氏

（NPO 多言語多読理事）

元電気通信大学准教授。

多読の提唱者にして第一人者。

『快読100万語！ペーパーバックへの道』、  
『図書館多読への招待』など著書多数。

### 申込方法・期間

■Web受付 町田市イベント申込システム（通称イベシス）



イベシスQRコード

年中無休 24時間受付

イベントコード（231019C）で検索してください

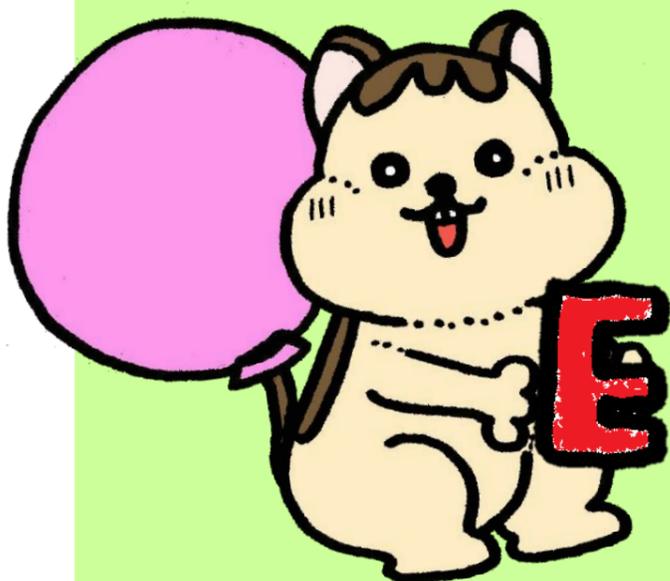
■電話受付 町田市イベントダイヤル（042-724-5656）

年中無休 午前7時から午後7時まで

■受付期間（電話・Web受付）

10月19日（木）正午から11月8日（水）  
（Web受付は午後11時59分、電話受付は午後7時）まで

※同時申し込みは2名まで



【評価対象年度 2022年度】

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	町田市立鶴川駅前図書館		
施設概要	<p>【所在地】町田市能ヶ谷一丁目2番1号 【開設年月】2012年10月</p> <p>【開館日時】月曜日～日曜日(年末年始、第1・第3月曜日を除く、ただし第1・第3月曜日が祝日の場合は開館)／9時半～20時(月曜日～金曜日)、9時半～18時(土曜日、日曜日、祝日)</p> <p>【施設面積】1,332.07㎡ 【建物構造】鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造り 地上4階地下2階の2階部分</p> <p>【施設内容】館内フロア各コーナー(一般書、文学、暮らし、児童、ヤングアダルト、地域資料、雑誌、新聞、洋書)、予約受取コーナー、おはなしのへや、サービスカウンター、書庫、対面朗読室、トイレ(男子・女子・みんな)、ブックポスト等</p> <p>【蔵書数】一般書:88,169冊 児童書:25,229冊 合計 113,398冊(2022年度)</p>		
設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供することにより、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資するため。		
設置根拠法令・条例	図書館法、町田市立図書館条例		
所管部課	教育委員会生涯学習部図書館	問合せ先	042-728-8220
施設ホームページURL	https://www.library.city.machida.tokyo.jp/		

(2)指定管理者

指定管理者名	株式会社久美堂、株式会社ヴィアックス ＜久美堂・ヴィアックス共同事業体＞	法人番号	なし
指定管理者所在地	(代表企業 株式会社久美堂)町田市原町田6-11-10		
指定期間	2022年4月1日～2027年3月31日		
指定管理業務の内容	<p>(1)図書館資料の収集、整理及び保存等</p> <p>(2)個人貸出し、団体貸出し、及び閲覧等</p> <p>(3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務・・・施設の保守・管理、修繕等</p> <p>(4)前各号に規定したもののほか、教育委員会が指定した業務・・・教育委員会への報告業務、利用者アンケートの実施等</p>		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 併用 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
利用者満足度(全体満足度) 82%以上	毎年度	満足・やや満足を合計して97.4%を達成した。
立地特性を活かしたコラボレーション特集等事業の実施 年間24回以上	毎年度	他団体とのコラボレーション特集等事業を年間40回実施した。
利用促進のための広報、周辺施設と連携したPR活動年間4回以上	毎年度	「鶴川地区協議会だより」に図書館の紹介記事を掲載するなど年間9回の活動を実施した。

3. 昨年度の課題

内容	2022年度から指定管理者制度を導入
----	--------------------

4. 総合評価及び所見

総合評価	<b>S</b> 【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	<p>【選定時の提案内容の実現】</p> <p>各項目は目標値を達成している。特に利用者満足度及びコラボレーション特集等事業については目標値を大きく上回っており、高く評価できる。</p> <p>【特に優れた取り組み】</p> <p>開館時間の延長・休館日の削減などにより、来館者数が2019年度を上回った。鶴川駅前図書館開館10周年イベントを実施し、多くの親子連れ利用者の参加を得ることができた。イベントでは、地元書店が指定管理者になっていることを活かして、有名絵本作家の講演会や人気児童書キャラクターとの写真撮影会、鶴川駅前図書館のはじまりを描いた紙芝居の公演、地元絵本作家によるオリジナルキャラクターの作成などを実施した。中学生への啓発につながるようマナーブックに自作漫画を取り入れての配布やマナーアップキャンペーンを実施した。本の除菌機設置、館内Free Wi-Fi、フライヤー(本の要約サービス)などの新しいサービスを提供した。</p> <p>【来年度に向けた課題】</p> <p>・引き続き市民に喜ばれ、かつ有益な事業が企画・実施され、現在の達成状況を維持するとともに、貸出し点数の目標達成に向けて取り組むこと。</p>
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	<p>開館10周年の節目の年に、指定管理運営を開始し、これまで以上に市民の皆様には喜ばれるような図書館を作り上げるべく、多々の新たな試みへチャレンジした。開館時間・開館日を増加させ、また館内でのサービス提供においても、館内Free Wi-Fi設置・「フライヤー」サービス提供・本の除菌機設置・オンラインセミナー開催・「英語おはなし会」開催等、新たな事業を開始した。2022年度の来館者数は、2019年度比で約114%にまで伸び、特に夕方から夜間にかけて中高生の来館が増え、放課後に安心してすごせる場所として認知されつつある。地域の人々・近隣施設や団体との連携についても、積極的に実施した。鶴川地区協議会、和光大学、FC町田ゼルビア等との連携では、館内での展示、ブックシェルフを利用した特別展示により、充実した関係を築けた。</p>

【評価対象年度 2022年度】

指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	開館10周年記念イベントでは、「かいけつぞろり」の缶バッジ作成と撮影会、絵本作家きむらゆういち先生の講演会とワークショップ、図書館オリジナルキャラクターの選挙イベント、図書館の歴史をたどるオリジナル紙芝居等、独創的なイベントを開催した。多くの親子連れ利用者が来館し、図書館の魅力を広めることが出来た。図書館の活動状況等につき、来館者や市民の方々等を知っていただくために、図書館からの情報発信を重要視した。館内では、図書館従事者の個性を発揮させた各種展示を展開し、「和光大学ポブリホール鶴川」や、先述した地域団体等との連携展示も、活発に行った。また、年間で3回、「鶴川駅前図書館だより」を発行した。これらの活動の結果、11月に実施した利用者アンケートでは、総合満足度97.4%という、非常に高い評価を得ることが出来た。一方、貸出冊数については、2019年度比で94.8%であった。今後、来館者へより多くの資料を手にとってもらえるような工夫も、検討・実施していく。また、資料の配架・書架整理やその他の日常業務全般につき、まだ改善の必要があると考えている。日常業務のクオリティ向上についても、今後課題として、取り組んでいく。
-------------------------------	---

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】 2022年11月22日～11月26日 【配布枚数】 421枚 【回収枚数】 421枚 【回収率】 100% 【調査方法】アンケート用紙手渡し回収(回収箱で回収)
------	---

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (総合満足度の項目において満足・やや満足とつけた利用者の割合)	A: 80%以上 B: 60%以上～80%未満 C: 60%未満	82%	97.4%	A	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2022	2023	2024	2025	2026
目標値	82	82	82	82	82
実績値	97.4				

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
来館者数 基準値 307,459人 (2019年度実績)	A: 292,087人(95%)以上 B: 245,968人(80%)以上 292,087人(95%)未満 C: 245,968人(80%)未満 ※()は基準値との比較(%)	330,137人 (107%)	350,194人 (113.9%)	A	
指定期間内における実績(単位:人)					
年度	2022	2023	2024	2025	2026
目標値	330,137 (107%)	339,752 (111%)	349,647 (114%)	359,830 (117%)	370,310 (120%)
実績値	350,194 (113.9%)				

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
貸出点数 (図書・雑誌・紙芝居・視聴覚資料等) 基準値 463,064点 (2019年度実績)	A: 439,911点(95%)以上 B: 370,452点(80%)以上 439,911点(95%)未満 C: 370,452点(80%)未満 ※()は基準値との比較(%)	485,128点 (105%)	439,047点 (94.8%)	B	
指定期間内における実績(単位:点)					
年度	2022	2023	2024	2025	2026
目標値	485,128 (105%)	494,928 (107%)	504,926 (109%)	515,125 (111%)	525,530 (113%)
実績値	439,047 (94.8%)				

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	「利用者満足度(総合満足度)」は満足・やや満足の合計値で目標を達成し、非常に高い水準となっている。 「来館者数」「貸出点数」は新型コロナウイルス感染症拡大前との比較だが、「来館者数」は開館時間の拡大などの効果により目標値を上回った。また、「貸出点数」は目標値を下回ったが、来館者数増加に伴いコロナ前の水準近くまで戻していることは評価できる。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

【評価対象年度 2022年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	障がい者に対するの合理的配慮	実践的な講座や研修の実施 図書館における障がい者向けサービスの紹介を行っている	「障がい者サービス担当職員養成講座」の実施を報告書で確認した。読書補助具をカウンターに設置していることを現場確認した。	適
	高齢者に対するの配慮	補助器具等の案内を行っている 認知症サポーターの養成	「認知症サポーター養成講座」の実施を報告書で確認した。拡大鏡などの補助器具の案内掲示を現場確認した。	適
	子どもの読書活動の推進	「子ども読書活動の推進に関する法律」に沿った具体的なサービスの創出	従来のおはなし会の他に英語のおはなし会や出張おはなし会を実施したことを報告書で確認した。	適
施設の運営方針・管理方針	地域の構成員としての地域連携	鶴川地区協議会等と連携している	地域の構成員として 鶴川地区協議会がポプリホールで開催している「3水スマイルラウンジ」で連携展示を実施したことを報告書で確認した。	適
	特性を活かしたサービス展開	地域資料コーナー・英語多読コーナー等の拡充し、利用を促進している 近隣大学等への出張登録会の実施	FC町田ゼルビアコーナーを拡充したことを現場確認した。大学への出張登録会は、和光大学担当者へ提案中であることをヒアリングで確認した。	適
	民間事業者の新たな事業	民間の特性を活かした新たなサービスを実施している	除菌機設置とフライヤー、館内Free Wi-Fi提供、開館時間の延長・休館日の削減の実施を現場確認した。	適
情報公開・個人情報保護	情報の適正管理	情報セキュリティや個人情報の保護に関する適切な体制の整備と、その体制に沿った取組が行われている	個人情報保護の研修実施を報告書で確認し、日常業務内で運用していることをヒアリングで確認した。	適
	公的な資格	公的な資格の承認を受けている	プライバシーマーク認証を企業のホームページで確認した。	適
要望対応	意見要望の把握	利用者からの要望等を把握するための組織的な方策を実行している	「利用者の声」の用紙と回収箱を、カウンター前に設置していることを現場確認した。	適
	利用マナー向上・啓発	マナーブックの配布	中高生への啓発につながるようマナーブックに自作漫画を取り入れての配布やマナーアップキャンペーン実施を現場確認した。	適
危機管理	事故や非常事態への備え	非常事態対応マニュアル(危機管理マニュアル等)の作成 施設全体の災害訓練等への参加	非常事態対応マニュアル作成を現場確認し、鶴川緑の交流館の防災訓練への参加を報告書で確認した。	適
	保険の加入	傷害保険や施設賠償責任保険等に加入し、事故処理等適切に対応している	基本協定書で定めた水準を満たす施設賠償責任保険に加入していることを証券にて確認した。また、2022年度は事故がなかったことを確認した。	適
人的安定性	専門性の担保	有資格者や責任者を適切に配置している	業務日誌で適切に配置されていることを確認した。	適
	雇用の安定性	職務能力等に対応した適正な給与体系が整っている 雇用の定着に努めている	職責に応じた給与であることを雇用条件契約書または労働条件通知書、給与規程で確認した。雇用の定着については、退職者が1名のみであったことをヒアリングで確認した。	適
	研修等	技術向上、自己啓発等の研修・研鑽を組織的に実施している	年間を通して各種研修を受講したことを報告書で確認した。	適
管理経費の縮減	事業実施時の費用の軽減	民間業者の特性を活かして、経費節減に努めている	チラシ、イベント告知用ポスターを構成企業が自社で作成し、経費を節減したことをヒアリングで確認した。	適
	光熱水費・施設の維持管理費	開館日拡大に伴って予想される維持経費の増加を抑えている	開館時間数は約30%増だが電気使用量は約10%増に抑えていることを確認した。	適

【評価対象年度 2022年度】

地元貢献	市民雇用	地域住民を積極的に採用している	職員23名中、6名が町田市在住であることを職員名簿で確認した。	適
	市内事業者	市内業者から優先して調達している	市内業者から消耗品や雑誌を購入していることを伝票で確認した。	適
	地域との連携	地域団体や近隣の大学・学校と連携した事業を実施している	和光大学との連携展示や町田の丘学園で出張おはなし会を実施したことを報告書で確認した。	適
	ボランティアとの協働	ボランティア交流会・ボランティア養成講座を実施している	ボランティアとは適宜、交流会をしたこと、英語おはなし会をボランティアに担ってもらえるよう支援し、実施に繋がったことを報告書で確認した。	適
図書館運営	選書・蔵書の管理	書架整理を常に行い、適切な状態を維持している 蔵書の有効活用に努めている	巡回表を作成して書架の状況を確認するなど、適宜、書架整理を実施していること、常時展示コーナーを10か所に設置していることを現場確認した。	適

(2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリング その他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2023年3月6日に鶴川駅前図書館でモニタリングを実施し、全ての確認項目が「適」であることを確認した。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。または、改善のための対策が講じられている。	2023年3月6日に鶴川駅前図書館でモニタリングを実施し、全ての確認項目が「適」であることを確認した。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることをヒアリング及び月次・年次事業報告書、現場で確認した。

7. 財務・収支状況の確認

(1) 公の施設に係る収支

単位:千円

項目	年度	2022			2023			2024			
		予算(当初)	予算(変更後)	決算	予算(当初)	予算(変更後)	決算	予算(当初)	予算(変更後)	決算	
収入	指定管理料	86,313	88,129	88,129	87,130			88,074			
	自主事	複写料金	110	110	38	110			110		
		その他	0	0	0	0			0		
	計	86,423	88,239	88,167	87,240			88,184			
支出	人件費	80,574	79,764	79,765	81,506			82,450			
	事務費	595	915	1,842	595			595			
	管理費	3,839	3,403	3,660	3,854			3,854			
	事業費	1,305	2,781	2,683	1,175			1,175			
	自主事	複写料金	60	60	136	60			60		
		その他	400	400	135	400			400		
計	86,773	87,323	88,221	87,590			88,534				
総計(収入-支出)		-350	916	-54	-350	0	0	-350	0	0	

【評価対象年度 2022年度】

年度 項目		2025			2026		
		予算(当初)	予算(変更後)	決算	予算(当初)	予算(変更後)	決算
収入	指定管理料	89,028			89,994		
	自主事	複写料金	110		110		
		その他	0		0		
	計	89,138			90,104		
支出	人件費	83,404			84,370		
	事務費	595			595		
	管理費	3,854			3,854		
	事業費	1,175			1,175		
	自主事		60		60		
			400		400		
計	89,488			90,454			
総計(収入-支出)		-350	0	0	-350	0	0

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位: %

年度	2022	2023	2024	2025	2026
経常利益率	-0.9				
負債比率	15.0				

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	経常利益率のマイナスは店頭売上の減少や光熱水費の高騰などが要因であるが、負債比率は良好であり、指定管理事業は概ね適切な執行で安定的に運営できていた。指定管理料を鶴川駅前図書館10周年記念企画事業の追加と、光熱水費高騰分を補填するため増額している。